



風かおる
人が輝き
躍動するまち

とままえ

1

No.629



まちひとと百景

服の汚れも気づかずに！

12月5日(木)苫前保育園で恒例の「おもちつきかい」が実施され、全園児が昔ながらのもちつきを体験した。

最近ではノロウィルスなどへの感染を防ぐために、園児たちが食品を直接手でふれる体験は減少気味であると聞いた。

でも、白と杵でつく餅つきを目の前に、園児たちは「がんばれー」「ヨイショ！」という元気なかけ声が園内に響き、日本の伝統行事の楽しさを体験することは素晴らしい経験と思った。

ついたお餅は園児の手ですぐに丸められたが、服がデンプンで汚れているのも気づかず、周りの出来映えを気にしながら真剣に丸める姿がとても微笑ましかった。

- 森町長新年あいさつ … 2
- 星野議長新年あいさつ … 3
- 本町5人目の名誉町民に久保田氏ほか … 4
- 「あとは野となれ山となれ」ほか … 5
- 標語コンクール入選者へ賞状伝達ほか … 6
- 学びの広場… 7
- 後期高齢者医療ガイド … 8
- 国民年金 … 9
- 健康ばんざい・住まいる情報 … 10
- 住まいる情報 … 11
- ちびっこギャラリー … 12

まちの人口

人口/3,486人(男/1,645人:女/1,841人)
世帯数/1,641世帯 (11月30日現在)

「人が輝き躍動するまち苦前町」で あり続けるために



苦前町長
森 利 男

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに輝かしい新春をお迎えのことと存じ、心からお慶び申し上げます。

日頃から本町発展のためにそれぞれのお立場でご活躍をいただきご指導ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

東日本大震災から2年半余りが経過し、被災地では本格的な復興に向けた取り組みが行われておりますが、山積する諸課題の解決に向けて国と地方が総力を結集して取り組むことが大切であると思っております。

さて、近年特に地域社会の最前線で住民サービスを担う市町村の役割と責任は益々重要になってきているものと思っております。

まちづくりの原則は「自分たちのまちは、自分たちでつくる」ことで、これからの時代は市町村が日本を支える存在価値を持つことであり、今まで以上に民間活力の感覚を生かしながら行政改革や財政改革を進め、まちの経営体制を整えていくこととしています。

また、国と国との枠組みの壁を越えたグローバル化の大きな波は、北海道はもちろんのこと本町の基幹産業である農林水産業を直撃しています。

厳しい国際経済の価格競争に加え関税の自由化、TPP（環太平洋経済連携協定）への

参加問題など、特に本町の一次産業は大きな変革を求められています。

更には国内におきましても、消費税の引き上げや年金・医療等を含め、住民生活に直接関係する項目についても減額や引き上げが重くのしかかってきている状況であります。

このような歴史的大変革期の中で本町のまちづくりをどう構築するかを、皆で充分議論を重ね、地域力を発揮し住民が安全安心に暮らせる豊かな地域社会と、まちの個性を生かした多様性と創造性にあふれる社会の実現に向けて積極的に取り組んでいくこととしていきます。

町財政の健全化は完了しました。従って今後は町民各位に直接関連する事項で、本町として将来まちの力になるような、そして人口が増えるような政策をどんどん町政運営の項目に入れて積極的に展開していくこととしていきます。

特に町職員はもちろんですが、町民がアイデアを出しやすい町民力が発揮できるシステムづくりを積極的に展開しているところであります。

今年も全町民が一緒になってスクラムを組んで頑張っていたきたいと願っています。

具体的には、本町の主要産業であります農業・漁業・商工業については、各産業ごとに積極的に議論をし、町へ提案していただいております。着々と整備を進めているところであります。

また、国や道の人口も減少しており、本町の人口も減少していることから人口を増やす政策を進めており、定住対策として町有地の売り払いや住宅建築等の助成、さらには子育て支援対策として中学生までの医療費の無料化や、現在小学校校舎の新築等も積極的に

行っています。

さらに風力発電の普及に向けた送電網整備についても、新しい会社も設立され具体化されてきており、町へのメリットやまちの活性化ができるよう検討しており、バランスのとれた行政運営ができるよう進めているところであります。

高い志を持ち活力に満ちあふれる心豊かでもいつも夢と希望をもち、困難に向かうたくましさをもって頑張っていくこととしています。豊かなまち、素晴らしい町民力として本町の地域資源を町民みんなで一体となって磨き、夢の実現に向かってさらに魅力を高め「人が輝き躍動するまち苦前町」であり続けるために全力を尽くしていくこととしています。

本年は皆様にとつてご健勝で幸多い素晴らしい年でありますようご祈念申し上げます。



新年のごあいさつ

苦前町議会議長 星野恭司

新年あけましておめでとうございます。
輝かしい平成26年の新春を迎え、苦前町議会を代表いたしました心からお慶びを申し上げます。

町民の皆様には、常日頃から町議会に対し深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、私たち議員8名が町民の皆さまの信託を受け、町政の発展に取り組み始めてから3年が経過しようとしております。

昨年は国をあげて景気対策に取り組んだ1年でしたが、その効果が現れてくるまでには、まだまだ時間がかかるように思われます。

このような状況のもとで、町政の取り組むべき課題も過疎化・少子高齢化に加え、基幹産業である農業に対する政府の農政改革への不安、先行きの見えないTPP（環太平洋経済連携協定）問題など、町政の活性化には大きな課題が山積みしております。

町議会といたしましては、このような課題を見据え「町民の皆様がより一層快適に住み、働き、憩うことのできる苦前町」の実現を目指し全力で取り組んでまいります。

また、小学校の建設については子供たちの安全を確保する耐震対策の目処が立ち、地域を考慮した総合的判断のもと、両小学校の建設計画を決議し、建設が本格的に始まろうとしており、身の丈にあったコンパクトな校舎の早期完成を目指して行政側と議論していきたいと思っております。

さらに、議会の果たすべき役割と責任を自覚し、町民の皆様信頼される地方自治の展開を図るべく、議会改革の一つの手段として昨年9月定例会から運用を開始しました議会中継など、皆様にとつてわかりやすく、「開かれた議会」を目指して進めているところであります。

今後とも、町当局と互いに協力しあい、町政進展に向けて全力を傾注する覚悟を新たにしているところであります。

年頭に当たり、今年が明るく希望をもつことができる年となりますとともに、皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

本年も宜しく お願いいたします



議長 星野恭司
副議長 間宮英明

総務産業常任委員会
委員長 青木幸隆
副委員長 西 大志

阿部俊一
田沢 收
小倉哲志
千葉勇一
間宮英明
星野恭司

議会事務局

事務局長 伊藤信行
総務係長 平井裕美
書記(併任) 島田秀美
" 宮野 亘
" 坂本政恵